

# 農業農村整備施策

「農業農村整備みらいプラン 2022-2025」に基づき『農の営みを支える戦略的な生産基盤づくり』と『農の暮らしを育む多様な邑づくり』を推進することでより良い農業、より良い暮らしを実現していくことを目指しています。

## ① 茶・柑橘等の産地収益力を強化する基盤整備の推進

- 生産性と収益性の向上や低コスト化を図るため、茶園の区画整理と水田の汎用化（暗渠排水整備）を推進します。
- 特に牧之原台地においては、需要の変化に応じた持続可能な茶産地を目指すために策定した「牧之原茶園の再編整備プラン」に基づき、区画整理等の基盤整備を推進します。

### ●茶園の区画整理（牧之原市静波地区）



整備前



整備後



植栽状況

## ② ICT等の新技術を活用したスマート農業の推進

自動走行農機に対応した大区画化等のスマート農業の実装化を可能とする基盤整備を推進します。

### ●ICT施工（牧之原市切山地区）



ICT対応型建機による暗渠排水管の敷設



### ●3次元点群データを活用した早期事業化の推進（牧之原市大江・片浜地区）



3次元デジタルオルソ画像

## ③ 農地・農業用施設の保全と管理体制の強化

- ライフサイクルコストを低減するアセットマネジメント手法の活用により、大井川・牧之原農業用水等、国営関連施設をはじめとする基幹農業水利施設の更新整備等を推進します。
- 新技術（トライボロジー）の活用により、機械の健全性を評価し、施設の適切な保全管理を図ります。

### ●用水路の更新整備（芝地幹線地区）



### ●揚水ポンプの更新整備（牧之原揚水機場）



### ●頭首工の更新整備（青木頭首工）



## ④ 関係人口の拡大による農村集落機能の強化

- ・茶園の景観等を活かしたマイクロツーリズムや再生デザイン事業等の活用により、ふじのくに美しく品格のある邑づくりへの参画者を増やす取組を推進します。
- ・ふじのくに美農里プロジェクトの実施により、農地の多面的機能を維持・発揮する取組を推進します。

### ●農村マイクロツーリズム



### ●企業連携による商品開発



### ●ふじのくに美農里プロジェクト 農作業体験(稲刈り)



### 農道の維持補修作業



### 休耕田へのコスモスによる景観形成



## ⑤ 農地・農業用施設の防災・減災対策による県土強靱化

- ・牧之原市を中心とした防災重点農業用ため池の改修整備工事を行い、自然災害に備えるための整備を推進します。
- ・沿岸部の排水機場の更新整備を進め、農村地域の災害防止・軽減とあわせて流域治水への貢献を図ります。

### ●ため池の耐震整備(一ノ谷池)



### ●ため池の耐震整備(大谷池)



### ●排水機場の更新 (焼津東部排水機場)

